



▲ 台風にも負けず 貴船菊 (10月3日撮影・故田中鈴子家)

慧 光

金光寺寺報 第255号 発行所 金光寺 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地 0982 83-2338

今月法語カレンダーのことば

かな 悲しみあるがゆえに よろこびあり ぼんのう 煩悩あるがゆえに ぼだい 菩提あり いどう えみょう 伊東慧明

私の寺で、仏教壮年会の会長を務めておられる方がいらっしゃいます。当初は加入を勧められても「今は忙しいので、仕事をやめて暇ができたなら考えます」と気のない返答でした。ところが、頼りにしていた母親が高齢となり病氣もあって、母親がしていた数々のことをこの人がしなければならなくなりました。かつて父親が若いとき、熱心にお寺に足を運んでおられたときの思い出が、こころの底に残っていたのでしょう。近年、母親も亡くなり今は一人暮らしですが、ますます熱心にお聴聞を心がける生活をされています。

その姿勢が多くの人目にふれ、今では地域全体の仏教壮年会の中心となって活動されるようになっていきました。その言動を通して、念仏の教えに出遇えたよろこびが伝わってきます。両親によせる熱い思い、悲しく寂しい

別離が縁となって念仏生活が始まったと語るその男性に、数多くの人が出会ってきました。そのすがたからは、確かなこころの支えを得た人のやすらぎとよろこびが感じられます。

親鸞聖人は、苦悩の原因となる煩悩を断ち切りさとりを得る目標をもって、比叡山で二十年間、学問と修行に励まれました。しかし、かえって自らの煩悩の深さに気づかれ、失意のうちに山を下りてやがて法然聖人をたずねられます。そして法然聖人のお導きによって阿弥陀さまの本願に遇われるのです。阿弥陀さまは、悩み苦しむすべてのものをそのまま救いさとりにいらせようという誓い(本願)をもって、今この私にはたらき続けてくださっています。

(本願寺出版社刊「大乘」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

仏事お休みのお知らせ
下記の日には緊急を除き仏事はお受けできません。ご協力をお願いします。
◎ 10月 18～19日 25日(終日)

8、9月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。
謹んでお悔やみ申し上げます。
2022年 8月13日満65歳 知立市 橋本 実様
2022年 8月24日満59歳 東京都 古橋 裕子様
2022年 9月 2日満97歳 大平 田中 登様
2022年 9月10日満100歳 小林市 山本 キクエ様

鞍岡の9月の天候 (アメダス)
最低気温・ 10.1℃ (21日)
最高気温・ 29.8℃ ( 9日)
夏日日数・ 23日/31日
真夏日日数・ 0日/31日
猛暑日数・ 0日/31日
月間総雨量・ 813.5mm(降雨日数・18日)
一日最大雨量・ 426.0mm (18日)

ホームページ開いています。
URL https://konkouji.jp/
10月3日現在アクセス数 135,549人

Table with 2 columns: Date and Event/Person. Includes dates like 二日 田中 登様 臨終勤行, 三日 当山前坊守釋妙順 月忌, etc.

Table with 2 columns: Date and Event/Person. Includes dates like 七日 花田秀義様 二・七日忌, 九日 寺報配布(十四区), etc.

Table with 2 columns: Date and Event/Person. Includes dates like 二十三日 山本キクエ様 二・七日忌, 二十四日 古橋裕子様 葬儀, etc.

金光寺のひと月

任職ひとりごと

まも聞そと父家てに過時ま日あたりり除る境たを二作たた災のそ根れす
すらかの間に「いもとにだにし。は状まを様内枝始十業翌▼難でこのてね台
がいぬ時き」とま家いな終家た疲後態せ一子地やめ日が十台をすにス駐。風
?まは、ど勘し族えるわ族。労日にん日にい種たにで九風逃がはし車当十
しー「間ん違たがばのり三殘困となで中唾っ々の坊き日一れ、私1場山四
(た生聞違ない。あ、でま入っ億いりし行然ばので守まは過る幸のトのは号
任職。のくい家し「る子しせでたのうまたいとい木すとせ雨のこい車が屋高、
肝恥はを族て一の供よん行作こし。ましに々が境んが好と、を割根野激
に「一知がい過かのう。い業十とた何しま広の、内で降天が鉄停れに横し
松井卓郎)てえ恥しので「思台風はた月なま、見終▼て葉折掃。外待まあいた、がた
いて、た。す。一風一何が、にりし残れわ掃いがれ除翌のししりた。屋折で